

経営比較分析表（令和2年度決算）

岩手県八幡平市 八幡平市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	4	-	透訓	救臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
24,788	6,313	第2種該当	-	13：1

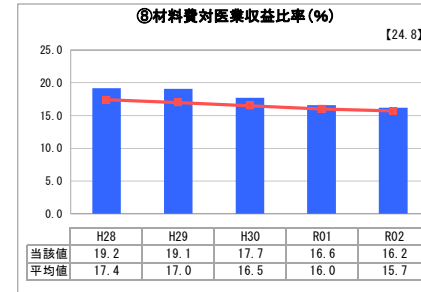
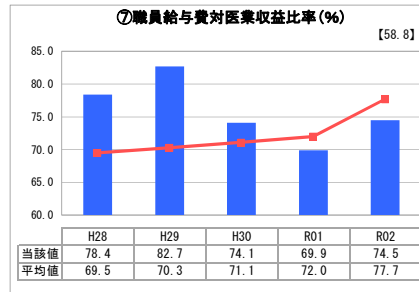
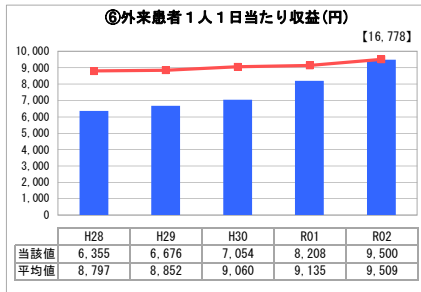
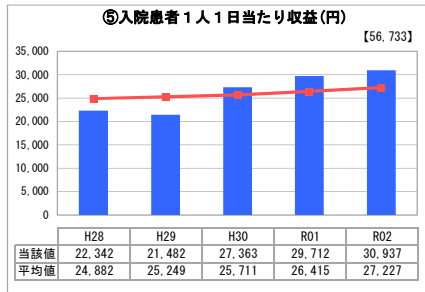
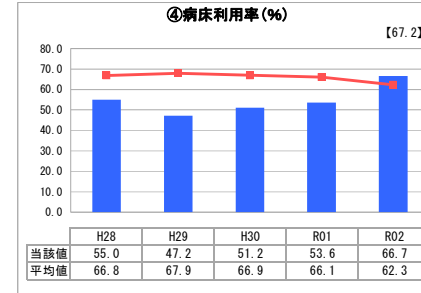
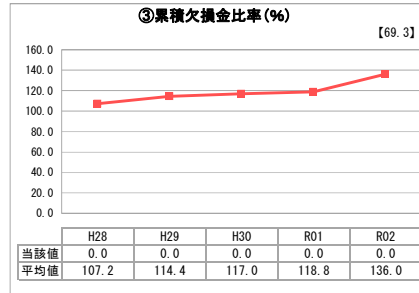
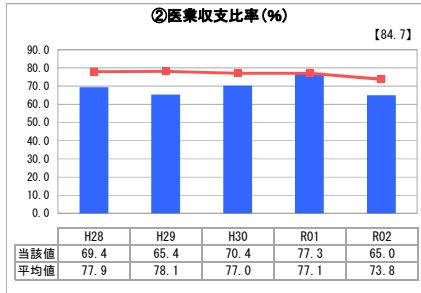
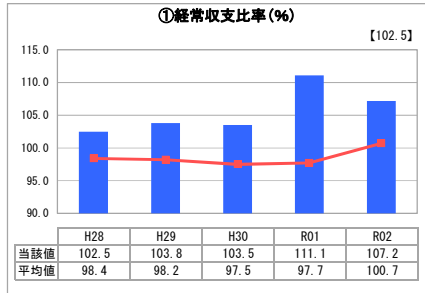
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

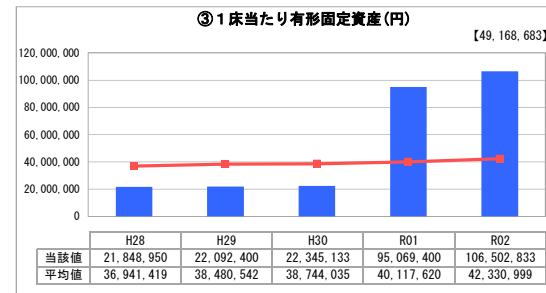
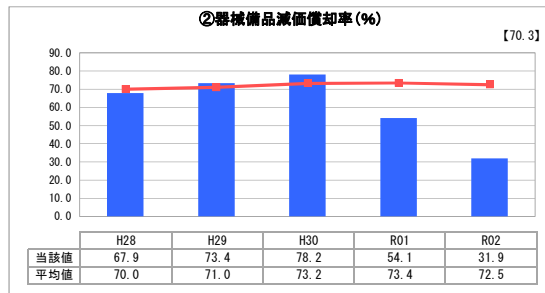
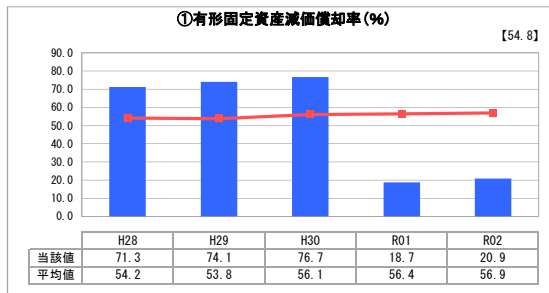
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	60
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
54	-	54

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

地域医療連携の強化、地域包括ケアシステムの積極的な参画が求められている中、地域病院・診療施設・介護施設との連携強化を図るとともに、急性期病院の後方支援病院としての役割を担っている。
また、地域包括ケア病床の導入や人工透析治療ベッドの拡充など地域の医療ニーズに応えるため、検討、取り組みを行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超え、累積欠損金もないが医業収支比率が低く一般会計からの繰入に頼った経営となっている。新病院新築移転に伴う人工透析治療ベッドの増加等により、外来患者の1人1日当たりの収益は増加し、また、地域包括ケア病床の増床により、入院患者の1人1日当たりの収益も増加となった。
材料費対医業収益比率は、前年度と比較し改善することができたが、職員給与費対医業収益比率については、職員数の増加に伴い前年度より上昇しているため今後さらに医業収益増に努めていく必要がある。病床利用率も上昇しており総合的に判断すると経営の健全化が若干図られていると捉えられる。

2. 老朽化の状況について

令和2年度には八幡平市立病院として新築移転を実施し、これまでの課題であった老朽化、度重なる増改築により動線が複雑化するなどの患者サービスの低下と維持管理経費の増大等に対する改善を図った。また、感染症に配慮した動線を確保することにより、一般の患者さんと区別し安心して受診していただける医療環境の整備を行った。

全体総括

新病院の建設により1床当たりの固定資産額、有形固定資産減価償却率が大きく変化しており、経常収支比率、医業収支比率も前年度に比較し低下している。その一方で人工透析患者数の増加、地域包括ケア病床の増床により、入院及び外来患者の1人1日当たりの収益は増加している。常勤医師の増員に加えて新病院移転が行われ、運営形態も大幅に拡大されることから、今後さらなる経営の健全化に期待ができる。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。